

2023.6.8 (木)

# 2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

2022-2023 年度  
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度  
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ  
第2500地区ガバナー  
久木 佐知子 (旭川西 RC)

第85代会長 滝越 康雄  
副会長 清水 輝彦  
幹事 中島 政徳  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

## クラブ協議会

### 会長エレクト挨拶 後藤 公貴会長エレクト



今日は、ロータリークラブの年度末という大変お忙しい中、本日のクラブ協議会へのご出席のみならず、例会のご講話まで頂戴いたしまして、心からクラブを代表して感謝とお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

さて、釧路ロータリークラブの近況です。先週の6月1日18時から「クラブアッセンブリー」、北クラブでいうところの「次年度のためのクラブ協議会」を開催させていただきました。多くの忌憚のないご意見、叱咤・激励をいただいて、無事に次年度活動計画書、活動方針が皆さま方にご理解・ご承認をいただけたものと思っております。

それを受けまして、本日のクラブ協議会です。年数が浅いメンバーの皆さまには馴染みのない方、またご存じない方もいらっしゃると思いますので、少し説明をさせていただきます。

これまでの「クラブ協議会」と言っていたものは、ガバナーが『公式訪問』をされる際に、例会の前段に開催していただいて、私どもの会長方針、各委員会の方針、思い・考え方、事業内容と予算について地区を代表するガバナーに確認をしていただいて、私どもの活動に総評・講評をいただくという内容となっております。

先ほど、佐渡ガバナー補佐の講話の中にもありましたが、今年度から次年度鶴見ガバナーは新たな挑戦として、8分区あるガバナー補佐がこのクラブ協議会の統括を行い、これを持って地区に各クラブの思いをしっかりと伝えていくことが1つ目の改革であることをご理解

いただければと思います。新たな試みの始まりですのでいろいろ不備があると思います。もし何かありましたら、私を通じて分区、地区にご報告させていただきます。ぜひ、こちらの方もよろしくようお願い申し上げたいと思います。

そして、その後、第7分区においては、7月第1週目からガバナー公式訪問が始まります。鶴見ガバナーの初の来訪地がこの第7分区となります。その際に、ガバナー意見交換会を予定させていただいております。鶴見ガバナーはどんな思いでこれをやるのか、私なりに疑問だったものですから、事前に佐渡ガバナー補佐にもどのように進めて行ったらいいかを「次年度会長・幹事会」の中でご質問、またはご提言をさせていただきました。

第7分区においては恐らくですが、各8クラブがクラブ協議会と同様の形でクラブの問題点、クラブが地区に持つ疑問点、クラブの悩みや相談をガバナーに直接ぶつけて地区のお考えを聞く内容になるだろうと思っています。これも初めての試みですから、これを何年もかけて醸成していくのだろうと思っています。

スタートラインに立つ私たちですから、ぜひ良いものに昇華をしていきたい、こんな思いをしております。ぜひ、釧路ロータリークラブの総意をしっかりと分区と地区にぶつけていきたい思いでございます。

この後は、先週のクラブ協議会・クラブアッセンブリーと同様に皆さま方から次年度の活動計画について発表をしていただきます。最後に佐渡ガバナー補佐より総評をいただく流れになります。

ぜひ、身近にロータリーをしっかりと感じられ、来年はこんなことするのだと、もう一度確認し合う有意義な時間になりますことを祈念いたしまして、少し長くなりましたが私の冒頭のご挨拶とさせていただきます。

皆さま、そして佐渡ガバナー補佐、本日よりよろしくお願い申し上げます。

### 佐渡 正幸ガバナー補佐エレクト挨拶

例会の卓話に引き続きまして、クラブ協議会を開催させていただきたいと思っています。

改めまして、

2023-2024 年度国



際ロータリー 2500 地区第 7 分区ガバナー補佐を務めさせていただきます釧路北ロータリー所属の佐渡正幸です。本日より、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ただいま、後藤会長エレクトよりお話がありましたとおり、本年度から次年度におきましては新しいスタイルのクラブ協議会となりました。今までにない中で各クラブが進んでいるわけです。第 7 分区では、私たちの北ロータリークラブから始まり、南ロータリー、西ロータリーでクラブ協議会を終了して、今回の釧路クラブが中間地点のクラブ協議会となります。

若きリーダーになられます鶴見ガバナーは 50 歳です。やはりその思いは、このロータリーが地域のために、あるいは社会のために、そして世界のために非常に重要である、大事である。このロータリーの活動がこれからの世の中を変えていくという強い思いの下、そしてこのロータリーをなんとか発展させたいという思いの下の事前のクラブ協議会であることをご理解いただきたいと思っています。

7 分区でも、ほぼ 1 カ月前倒しの活動となっています。後藤会長、そして佐藤幹事をはじめ、役員・理事の皆さまには、その方針等の提出も非常に早まっています。第 7 分区のロータリアンの皆さまにはその思いを感じていただいて、何ひとつ苦情もなく、批判もなく、「そういう思いを受けとめさせていただきます」という方針で進めていただいていることに心から感謝を申し上げる次第です。

やはり釧路クラブは、クラブ協議会となるとそうそうたるメンバーがいらっしゃいまして、やはり人数も多いと感じています。そして、それぞれが担っている委員会も他のクラブと比べて多くて、トップリーダーである釧路クラブの活動がこの第 7 分区を引っ張っていく要因になっていると思っています。

今日は皆さまからの活動計画を拝聴し、大変恐縮ではありますが、立場ということもありまして、総評というか感想を最後に申し上げさせていただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございます。

### 会長基本方針 後藤 公貴会長エレクト

それでは、私の会長基本方針のご説明をさせていただきます。

2023-2024 年度釧路ロータリークラブのスローガンは「地



域を愛し、未来を語るロータリーの輪を広げましょう」と掲げさせていただきました。一読はしませんので、要約してご説明させていただきます。

私自身、11 年のロータリーのキャリアの中で親睦と交流がこのロータリー活動の根幹であるという理解の下で、その親睦と交流を醸成する機会を多く作っていかうを旨に活動をしていきたいと思っています。

また、その活動の基礎には例会事業があります。この例会事業をなるべくこの地域を良くしよう、そして深く知ろう、そして今を知ろう、を中心に例会・事業を組み立ててまいりたいと思っています。この側面に関しては、わが釧路ロータリークラブには 20 名弱のいわゆる転勤族といわれる方も多く会員として活動をしていただいております。その方たちは残念ながら 2 年から 3 年の間に他の赴任地に赴くことがあります。ぜひ、この釧路ロータリークラブの活動を通じて、釧路の良さと、釧路の温かさをしっかり感じていただいて、新しい赴任先やその他の地域でも「釧路って、いい街だよ」「釧路って、本当にいい街だから一回訪れよう」といったスポークスマン的な役割を果たしていただくことを裏のテーマとして掲げていることをご理解願えればと思います。

また、現在 101 名いる正会員です。少なくなれば少なくなるほど、いい機会、素晴らしい機会がどんどん少なくなっていくと考えています。ですから、会員拡大は永遠のテーマであり、至上命題であると思っております。私のお話の中で、事あるごとにこの会員拡大にもふれていきたいと思っております。もちろん、退会防止も同時に合わせて遂行してまいりたいと思っています。

3 年余りのコロナ禍が過ぎて、この 3 年ぐらいい入会の方たちは通常のロータリー活動をご存じない方が多いと思っています。私の次年度に関しては、これまで行ってきたすべての事業を通常通り行ってまいる所存です。これまで行ってまいりました継続的な伝統ある事業も含めて、皆さま方と一緒に企画・参画をさせていただきたいと思っております。ぜひ、よろしくお願いいたします。

クラブの活動目標 7 つを下に記載させていただいております。こちらの方もご確認させていただきます。

私自身も、三役を含む仲間たちもみんな若輩でござい

まず、私自身の成長をテーマに1年間活動させていただきたいと思っております。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。会長基本方針の説明とさせていただきます。続きまして、クラブ概況および会務方針を佐藤幹事、よろしくお願い申し上げます。

## クラブ概況および会務方針

### 佐藤 貴之次年度幹事

私からはクラブ概況および会務方針のご説明をいたします。



まず、こちらは5月1日現在の数字となっております。

会員数100名ということと最年長が94歳ですが、清水先生がお亡くなりになりましたのでこちらの数字が若干変わってくるかと思えます。現在のところ、5月1日現在としてはこちらの数字になっていますので、ご一読をお願いいたします。

クラブの概況につきましては、例年通りということで、会費は15万円、上期・下期が7万5000円と通常通りになっています。大きく変わっている点としては、3ページ目の⑦番のクラブ協議会は変更がありまして、第1回目が先週行われたクラブアッセンブリーの活動計画書討議です。第2回目が本日開催しておりますガバナー補佐によるクラブ協議会。それから第3回目が1月18日の上期活動報告、下期活動計画。第4回目は6月20日の年間活動の総括となっております。8番目の総会です。今年度12月7日に年次総会を開催します。

次に変更点として、12番の例会は、クリスマス家族会で今年度12月14日(木曜日)に開催いたします。新年交礼会は1月11日、最終例会のキャンドルパーティーは6月27日となっております。

その他で、いろはの「ろ」です。創立87周年に関する例会を開催し、当クラブの歴史の理解を深めることを開催したいと思います。

大きく変更したところは以上です。私からは以上です。

(各委員会活動計画は活動計画書をご一読下さい)

## 総評 佐渡 正幸ガバナー補佐エレクト

大変恐縮ではございますが、立場がございまして総評というか感想を話させていただきます。よろしくお願いいたします。



まず、さすが釧路クラブだなと感じさせていただきました。会長・幹事をはじめ大委員長、委員長、役員の皆さまから本当に詳しく、しかも明確にお話をいただいて、非常に参考になったと思っています。次年度の後藤会長とは古くから良く知っている仲ですし、ここだけの話、分区を進めていくには後藤会長が隣にいてくれると僕も助かる部分もあります。そういうことでは大変お世話になると思います。どうぞよろしくお願いしたいと思います。

会長方針については、あえて文章を読み上げるのではなく、その内容についての深い説明をいただきました。非常に素晴らしい方向だったと思います。「地域を愛し、未来を語るロータリーの輪を広げよう」ということで、本年度地区補助金の事業において、青少年を集めての湿原探索など、釧路の地域を知らない子どもたちに釧路を知ってもらおう。よく、プロ野球の観戦でも、小さいころに行った野球場の思いが将来大人になった時に、また野球を見に行くのでプロ野球球団は無償で子どもたちを招待するという声を聞きます。釧路の子どもたちが家にこもって携帯をいじっているよりも、身近にある湿原という自然を感じて、釧路を愛することによって、長い目で見れば釧路のロータリーに入ってくる可能性もあります。入らなくても大人になって釧路のために仕事をしてくれたり、ふるさと納税という手段もあります。この地域の活性化においては、今年度進めるこの青少年の事業は本当に素晴らしいと思っています。分区としても、しっかり支援をしていきたいと思っています。

釧路クラブの特徴としては他のクラブにはない20名ほどの転勤族の方がいらっしゃいます。北クラブにおいても3~4名の会員がいます。実は、あまり釧路のことを知らない中でロータリーに入った途端に100名近くの友人ができることで、うちのクラブでも活動を一生懸命頑張らせていただいております。恐らく釧路クラブにおいてもその転勤族の方がロータリーを楽しんで、親睦・交流活動も深めていると思います。ぜひ、この会員の流れを絶やすことなく、そして一人でも多くの転勤族の方に釧路を知ってもらって、愛してもらって、そして、また釧路に遊びに来てもらえるような循環も釧路クラブが多い人数ですので作っていただければと思います。

五十嵐委員長からお話がありました出席率の向上です。各クラブを回って、この出席率と会員拡大・維持は全ての皆さんが課題・問題にしている、中長期的に見ても今後、会員が減少してくることをどうやって解消していくかはみんなが悩んでいることだと思います。

釧路クラブの出席の確認はどのようにして取っていますか。テーブルで事前に1カ月分くらいですか。(会場:「毎回の例会で、出席した方がテーブルにある

出席表に「出席しました」と丸を付けて)」

当日の出席率の確認ですね。次回の出席の確認とかは取っていないですか。

(会場：「取ってはいないです」)

うちのクラブはコロナもあって今は ZOOM と併用してやっていますが、全メンバーをグループラインで毎週金曜日に、1 番：リアル出席です、2 番：ZOOM 出席です、3 番：欠席です、と案内を取って会員数を確保しています。その理由は先ほど幹事からありましたとおり、ホテルの会場費や昼食代も上がっているので、ロスを減らす目的もあるのですが、みんなの中では、ラインで回ると「出ないとなあ」という出席率向上の意欲が広がっていると思います。いろいろな形で各クラブが検討されて行っていると思います。うちのクラブの事例も参考にさせていただければと思います。親睦委員会・濱口委員長。やはりロータリーの中心的な親睦と奉仕という部分で、親睦が深まるから奉仕につながるのか、奉仕活動をすることによって親睦の場が膨らむのか、いろいろな考え方があるとは思いますが。僕は、親睦があつてのロータリーを知っていただいて、友情が培った中での奉仕活動という流れが強いかと思っています。活動計画を見ても非常にたくさんの事業ありますし、今日もうちのクラブの会員が見ていて、青いタスキをしている親睦活動委員会のメンバーが鉤路クラブはとて多量だと思ひました。そのメンバーを取りまとめていかないとならぬ重き責任かと思ひます。ぜひとも後藤会長を支えるべく親睦の中心となつて頑張つていただければと思ひます。プログラム委員会については、八幡君がまだ入つて間もないですよ。うちのクラブにもプログラム委員会はあります。他のクラブを見ると人数の関係でプログラム委員会はない所もあります。会長・幹事が作つたプログラムをあえて委員会が精査していくという重要な部分だと思ひます。うちのクラブのプログラム委員会は会員卓話の候補を割り当てるぐらいの仕事しかないので。鉤路クラブの形はスタンダードな形なのですが、分区ではこの形があまりないと見えています。ぜひとも、いいスタンスを発信していただければと思ひます。まだ入会して間もないと思ひますのでベテランの皆さまの意見を聞きながら進んでいただければと思ひます。会員増強・退会防止は瀧山委員長ですね。「10%増」ということで、母体が大きいので 10 名の会員拡大目標は素晴らしい試みだと思ひます。他のクラブは 2～3 名というのが多いのですが、鉤路クラブにおいては邵さんが地区の会員拡大委員長ということで、しっかりと力を入れていただきたいなと思ひます。次年度はうちの平井昌弘君が地区の拡大委員長です。しっかりと力を入れて会員拡大に努めていきたいと思ひます。会員拡大よりも重要なのが退会防止、会員維持だと思

います。先ほど話しましたが、入会間もない人がロータリーに関心があまり持てずに出席率が下がつての退会というパターンが非常に多いと思ひます。特に鉤路クラブの場合は青年会議所等の O B の方が多いですので、危惧されるのはグループの中になかなか溶け込めないことがあると思ひます。次年度の小谷エレクトも「D E I の中の特に I のインクルージョンを直訳すると『包摂』で分かりにくい日本語で、簡単に言うと『配慮』ですよ」と仰つていました。クラブの中にポンツと入つた時に、その人が疎外しないようにみんなで声をかけながら、そしてロータリーのことを楽しみながらくり返していくことで、ポツンとしたグループが鉤路クラブという輪の中に入っていく、それがいわゆる会員に対する配慮で、インクルージョンです。それが会員維持につながるという考えを発表されてきました。会員維持・会員拡大はみんなで行っていくもので、結果を出せなかつたことによる委員長の責任ではなくて、みんなの責任、みんなの義務という思いで頑張つていただきたいなと思ひます。

研修について。北クラブの場合は会長が終つて 2～3 年後ぐらいにアカデミー研修の理事という立場が与えられます。実は、明日も研修セミナーがあつて 1 時間ぐらい話さないといけぬのですが、研修のセミナーで若い会員にロータリーのことを伝え、そしてロータリーの良さ、歴史を伝えたりする事業です。その時に「源流の会」という会があつて、その中に『シェルドンの森』という本があります。これを読んだ方もいらつしゃると思ひます。これ、私も付箋を貼つて読んでいます。ロータリーの始まりから、モットーである「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる、超我の奉仕」とか、世界大会の 100 年以上前の細かい記録が書いてあつて、そこが今もなお現在に生きているという本です。とても読みやすいです。ぜひとも研修に当たつてはこの本を利用しながら新しい会員に話をする、またロータリーの楽しさが伝わるのかなと思ひます。ぜひとも活用していただければと思ひます。奉仕プロジェクト部門の磐田大委員長。私も本年度は北ロータリークラブの奉仕プロジェクト部門の理事をやつております。特に社会奉仕に関しては、月間テーマごとに担当例会を 10 回以上持つております。奉仕プロジェクトというのは、ロータリーの中での神髄の部門ですので少し難しかったり、あまり面白くない内容の例会になるかもしれません。世界で行われている事業、特に鉤路クラブの場合は国際奉仕の事業もたくさん行われていますから『マイロータリー』を利用しながら資料を集めていただきて、会員に広く伝えていただければと思ひます。

青少年に関する事業については、アイスホッケーが邵さんから話がありましたとおり、コロナの間は開催できずにやつと行うことになるわけですね。先ほど、ア

フター・コロナではなくてビヨンド・コロナで、もう乗り越えて「新しく一歩が始まる」気持ちで、氷都釧路を代表するスポーツであるアイスホッケーの事業を進めていただきたいと思います。

分区におきましても7月29日の全道中学校の大会については、これをもっと拡大した中で進めていきたい。なぜならば、釧路のみならず全道各地から集まってくれていることが非常に素晴らしい事業だと思えます。やはり釧路の良さを知ってもらいたい機会でもあります。分区としては、7月の第1週、第2週は表敬訪問・公式訪問と非常に忙しい中ですが、その後の全道中学校の大会に向かって進んでいきたいと思えます。アイスホッケーについても何かしらのご協力をさせていただきたいと思っています。

ローターアクトについては、本年度初めに、釧路北ローターアクトの会員数が9名になってしまいました。この地区は本当に少なくなっていて、稚内2人、名寄1人、旭川3人、根室はなくなる。美幌は数人ということで、今、国際的にローターアクトを高めて、資格もロータリアンと同等の資格を与えているのにもかかわらず、2500地区は下がっているのでも何とかしようと中島会長と本年度ローターアクトの6名の会員拡大をいたしました。



実は、この6名はうちのクラブのロータリアンのいわゆる通勤族さんの社員であるとか、釧路の大きい会社の社員であるとか、そういう方で

集めさせていただきました。ぜひこの部分についても釧路クラブの会員の皆さまの所の社員であるとか、会社の社員の皆さまにお願いしたいと思えます。

公立大学に100名ほどの規模のボランティア部があります。公立大学に何人いるか分かりませんが、かなりの確率の数字だと思っております。その学生さんたちに今ローターアクトの会費が1万2,000円かかっているのです。「月1,000円なのですが、そのお金を拠出するのも実はなかなか大変です」という声もありましたので、うちのクラブで、半額を誰かスポンサーを募って会員拡大していく方向でも進んでおります。ぜひともインターアクトクラブも当然ですが、ローターアクトクラブのご支援もいただければと思います。

財団の寄付に関して。これは本当に素晴らしいと思えました。今現在、2500地区で66クラブです。来年1クラブがなくなって65クラブになるのです。今現在、「寄付0クラブ」が11クラブあるそうです。『1人100ドル寄付』を達成しているクラブでは他の分区の数字は見えていませんが、なかなかない数字と思

ます。

米山の方が当地区には大学が公立大と教育大しかないものですから、米山の留学生がここ最近ないわけ、その活動に対しての意識も当然、低くなります。他の旭川、北見、帯広には工業大学や畜産大学がありますので来年も10名ぐらいの米山奨学生が来ます。なんとかここに関わりたいと思って、この前のガバナー補佐研修会議の時に委員長がお見えになって、話を聞きました。「カウンセラーは、輩出しているクラブ・大学でなくてもなれます。釧路の方も共同でカウンセラーはできます」という話もありました。

帯広に行く、北見に行くという時間はかかるかもしれませんが、カウンセラーという形で参加しながら米山を勉強していくのもひとつの手段かなと考えています。うちの北クラブは去年、三島にある米山記念館を訪問して、米山梅吉郎の話を館長さんから詳しく聞いてきました。そういう所に行くと、米山の考え方やロータリーの奨学生に対する寄付の考え方というのを高めますので、何かの機会があればそういう所を訪問するのも米山の委員会事業の活動のひとつと思っています。

ひとつひとつ感じたことをご説明させていただきました。何よりも、何度も申し上げますが、本年度は新たな試みが進んでいくこととなります。おそらくこの流れは、まだ続いて行くと思えます。今年は皆さまの意見を事前クラブ協議会、あるいは普通にガバナーが来た時の意見交換会について、忌憚ない意見をできるだけ出して欲しいと思えます。この試みの「ここはよかった」「ここは少し問題がある」などいろいろとあると思えます。おそらく僕も思っていますし、後藤会長も思っていると思えます。連絡が非常に遅いですから、会員の皆さまに伝える時間もないし、動きも悪くなります。そういう部分をしっかりと次年度の鶴見ガバナーに伝えながら、この流れを続けて行ければなど思っています。

大変拙い講評にはなりました。本日のクラブ協議会の総評とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

#### 会長謝辞 後藤 公貴会長エレクト

冒頭でも申し上げましたが、大変お忙しい中、クラブ協議会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。そして、各委員会の細部にまでわたりまして佐渡ガバナー補佐の豊富な経験の中からいただいたアドバイスと的確なヒントを次年度の活動の糧にさせていただきたいと思えます。

お話の中にもありましたとおり、大変若く、そしてロータリー経験の少ないメンバーを理事・役員の中に配置させていただきました。私の思いを具現化するよりも、釧路クラブの歴史と伝統のある事業の中でガバナー補

佐が仰ったように、1つの委員会、そして1人の個人がその責任を負うわけではなく、この委員会、もう少し大きな大委員会、もっと言えばクラブ会員全員で1つの問題や1つの事業をより良いものにしていく。そして、未来の釧路クラブの活性化につなげることを目標に、ひとりひとりが大きな志の中で一枚岩になって活動を頑張っていくのだという思いを私自身がさらに強くさせていただいたところであります。

冒頭、会長・幹事会の中で「心強い」とむずがゆくなるようなお話をいただきましたが、2回の会長・幹事会を通じて私がぶつぶつ文句ばかり言って、そろそろ嫌われるかなといったところで、これから第7分区の中で孤立しないように発言を控えていきたいと思っております。ぜひ、仲良くお酒を酌み交わせればなと思っております。

何はともあれ第7分区のため、そして2年後にはガバ

ナーという大役が待っております。ぜひ、お体にはご自愛していただきまして、活発な第7分区の活動、ひいては未来の第2500地区の活動にぜひ邁進していただければと思っております。応援しておりますので頑張ってください。

私たち自身も、協力は惜しまないと心をひとつにまいります。拙い謝辞になりましたが、引き続き私ども釧路ロータリークラブをよろしく願います。このこと申し添えさせていただきまして私からのお礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

